



第 38 回 三ヶ日東小学校運営協議会

2026. 2. 18 13:30～15:00

浜松市立三ヶ日東小学校 会議室

進行:学校支援CD (若松)

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長選出

4 前回議事録の確認

5 熟議

議長：(大井)

(1) 令和7年度学校評価の成果と課題から(教務)
学校いじめ防止基本方針に基づく取組状況と達成状況(生徒指導)

(2) 令和8年度学校運営基本方針(校長)

(3) 令和7年度学校運営協議会自己評価(会長)

(4) 令和8年度学校運営協議会の目的及び年間計画、組織(会長)

(5) 令和7年度夢育やらまいか事業(教頭)

(6) その他 ・学校運営協議会委員研修会の御案内
・はまクルについて

6 その他

(1) 次回議長の選出

(2) 次年度開催予定(案)

・第1回(第39回) 4月22日(水) 15:00～16:30

・第2回(第40回) 6月13日(土) 13:00～15:30(キラキラダンス)

・第3回(第41回) 10月14日(水) 13:30～16:30

(授業参観・熟議後、職員との話し合い)

・第4回(第42回) 2月17日(水) 13:30～15:00

(3) 退任委員挨拶(大野、楠、和田)

令和7年度 第37回 三ヶ日東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年10月15日（水）15時00分～16時30分
- 2 開催場所 三ヶ日東小学校 大会議室
- 3 出席委員 石原 正仁、大野 恵美子、楠 道寛、和田 勝美、大井 宏文、
小寺 亜貴子、染葉 直美、鈴木 康二
- 4 欠席委員 長坂 恭輔、若松 一也
- 5 学 校 中村 圭介（校長）、平田 香織（教頭）、高島 博（教務主任）
山田 雅美（CSディレクター）
- 6 浜松市教育委員会 山本 俊行（学校地域連携課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 山田 雅美

9 議長の選出

司会（鈴木委員）から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、前回会議終了後決定した通り、和田委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 前回会議録の確認

司会の指示により、教頭から、別紙資料に基づき前回会議録について説明があった。

11 協議事項

- (1) 学校サポーター、学習支援について
- (2) 児童の様子に関すること
・全国学力・学習状況調査結果 等
- (3) 学校評価アンケートの項目について
- (4) 令和7年度 学校運営協議会の自己評価について

12 会議記録

司会から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 学校サポーター、学習支援について

議長の指示により、染葉委員から別紙資料に基づき、学校サポーター、学習支援について説明があった。

委員から以下の発言があった。

- ◇10月21日に6年生を対象にプロウエイクボーダーのSUNNYさんによる講演会を行う。(鈴木委員)
- ◇12月9日に6年生を対象に、「静岡どぼくらぶ講座」の建設関係の体験講座を行う。(鈴木委員)
- ◇「静岡どぼくらぶ講座」の体験とは何をやるのか？(和田委員)
 - ↳土木の最新技術の体験を行う。(AR、ICT等 見学可)(鈴木委員)
- ◇最新技術等は子供たちがわくわくする。(和田委員)
- ◇家庭科ボランティアは子供たちの必要なタイミングでサポートしていただけて、ありがたい。(教頭)
- ◇保護者の方が積極的に参加してくれる。(染葉委員)
- ◇子供たちも素直なので、ボランティアに入っても進めやすい。(大野委員)
- ◇通年で行われている、算数の学習支援はどのように行われているのか？
(石原委員)

↳主に5年生の授業に入ってもらっている。竹下さんの都合の良い時に、授業に入ってもらい、サポートしてもらっている。(教務)

- ◇読み聞かせのボランティアが月に2回程来てくれている。(染葉)
- 協議の結果全員異議なくこれを承認した。

(2) 児童の様子に関すること

・全国学力・学習状況調査結果 等

議長の指示により、高畠(教務)から別紙資料に基づき、全国学力・学習状況調査結果について説明があり、意見を求めたところ、委員から以下の発言があった。

- ◇学習時間というのは、塾の時間は入らないのか？(大井委員)
 - ↳塾、家庭教師、インターネットを使っでの学習の時間も含まれる。(教務)
 - ◇都会の子より塾にっている子は少ないが、それでも点数が高いのは頑張っていると思う。(大井委員)
 - ◇アンケートを実施する際、アンケート項目について説明がないので、解釈の仕方によって子供たちの回答が厳しめに表れているのではないか。(石原委員)
 - ◇タブレットを使い自分で考えて回答するので、解釈の違いがある。(教頭)
 - ◇ICTの機器を使うことで情報処理技術は向上しているが、それを関連付けて活用していくことはとても難しい。ICTで得た情報を関連付けて扱うことや、活用の仕方を身に付けることを指導して欲しい。(石原委員)
 - ◇学力調査は毎年やっているのか？その年の差異はあるのか？(和田委員)
 - ↳毎年行われている。その年によって差異はある。(教務)
- 協議の結果全員意義なくこれを承認した。

(3) 学校評価アンケートの項目について

議長の指示により、高畠（教務）から別紙資料に基づき、学校評価アンケートについて説明があり、委員から以下の発言があった。

◇同じ質問で、児童、保護者、教員でずれが生じると思うが、具体的に大きくずれが生じる項目は何か？（石原委員）

↳そこまで大きくずれが生じる項目はない。（教務）

◇不登校の児童にもアンケートを実施するのか？（鈴木）

↳可能な限り実施する。（教務）

◇中学でも不登校や、保健室、別室登校がかなり増えていて、対策はしていると思うが年々大変になっていくと思う（大井委員）

◇アンケート結果は開示されるのか？

↳次回の運営協議会で集計結果を報告する。（校長）

◇保護者は子供の学校での様子をとらえづらく、参観会での様子しか分からないので子供を見つめ直すいい機会になる。（大野委員）

協議の結果全員異議なくこれを承認した。

(4) 令和7年度 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき学校運営協議会の自己評価について説明があり、委員から以下の発言があった。

◇（昨年度の目標にある）地区社協で地域のサロン用の人材バンクを作っていたが、途中で止まっている。（楠委員）

◇地区社協の人材バンクではなく、学校としての人材バンクをそのまま活用していけばいい。（大野委員）

協議の結果全員異議なくこれを承認した。

■その他連絡事項等

(1) 次年度以降の委員について

司会の指示により、教頭より次年度以降の委員について説明があった。

(2) 次回議長の選出

司会より次回議長の選出について、議長を大井委員、司会を若松委員に推挙する旨の報告があった。

(3) 今後の予定

○司会より、年間予定について説明があった。

第38回：令和8年 2月18日（水）13時30分～15時00分

○学校地域連携課、山本様より挨拶があった。

いじめ問題への取組総点検

回答者 ()

このアンケートは、自校のいじめ問題への取組について振り返りを行い、課題や改善策等を検討するために実施します。

(質問内容は、令和5年度教職員版はままつの教育「いじめ対応の手引き」を参考にしています。)

以下の質問についてお答えください。

番号	質問内容	回答 ※どちらかに○	
		はい	いいえ
☆	あなたは、いじめの定義(「一定の人的関係」「心理的又は物理的な影響を与える行為」「心身の苦痛」)を正しく理解していますか。		

■回答基準(以下の質問に対して、次の項目から当てはまる数字を記入してください)

4. できている 3. どちらかといえばできている 2. どちらかといえばできていない 1. できていない

■未然防止～いじめを起こさない～ ※「いじめ対応の手引き」P6-17

番号	質問内容	回答
Q1	あなた(あなたの学校)は、「学校いじめ防止基本方針」の計画に則った未然防止の取組(いじめの防止等に関する取組)を行っていますか。	
Q2	あなたは、いじめの未然防止に向けて、自分の役割を自覚して行動することができますか。	

■早期発見～いじめを見逃さない～ ※「いじめ対応の手引き」P20-22

番号	質問内容	回答
Q3	あなたは、自校のアンケートや「はままついじめアンケート」の結果をいじめの発見に有効活用していますか。	
Q4	あなたは、子供との関わり・観察や個人面談をいじめの発見につなげていますか。	

■対応～いじめを解決する～ ※「いじめ対応の手引き」P24-42

番号	質問内容	回答
Q5	あなたは、いじめと疑われる行為を発見した場合、その場でその行為を止めることができますか。	
Q6	あなたは、子供や保護者の気持ちに十分寄り添い、傾聴しながらじっくり話を聴いていますか。	
Q7	あなたは、事実(いつ、どこで、誰が、何を、どのように、なぜ『5W1H』)を聴き取り、その事実のみ(主観は入れない)を記録に残していますか。	
Q8	あなたの学校は、「校内いじめ対策委員会」でいじめの認知をし、組織的な対応ができていますか。	
Q9	あなた(あなたの学校)は、いじめを受けた子供、いじめを行った子供の保護者に、いじめの事実関係や対応方針・経過をできるだけ早く、丁寧に説明していますか。	
Q10	あなた(あなたの学校)は、いじめの解消に向けて、いじめを受けた子供、いじめを行った子供の気持ちを継続的に確認し、見守っていますか。	

■「学校いじめ防止基本方針」「校内いじめ対策委員会」を含めた自校のいじめ対応について、本年度の課題や見直しが必要である点(自由記述)

いじめ問題取り組み総点検【アンケート結果】

★ あなたは、いじめの定義を正しく理解していますか。



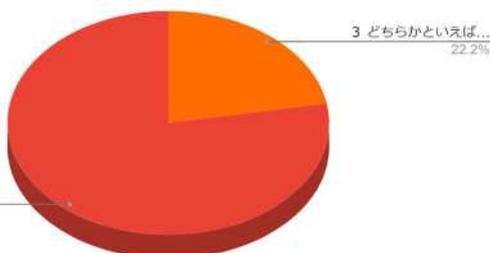
できている 100%

Q1 あなた（あなたの学校）は、「学校いじめ防止基本方針」の計画に則った未然防止の取組（いじめの防止等に関する取組）を行っていますか。



できている 100%

Q2 あなたは、いじめの未然防止に向けて、自分の役割を自覚して行動することができますか。



4 できている
77.8%

3 どちらかといえば...
22.2%

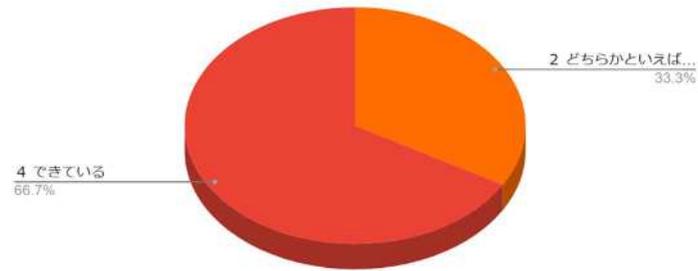
Q3 あなたは、自校のアンケートや「はままついじめアンケート」の結果をいじめの発見に有効活用していますか。



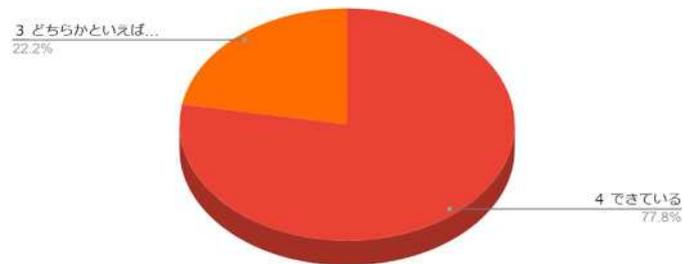
4 できている
88.9%

3 どちらかといえば...
11.1%

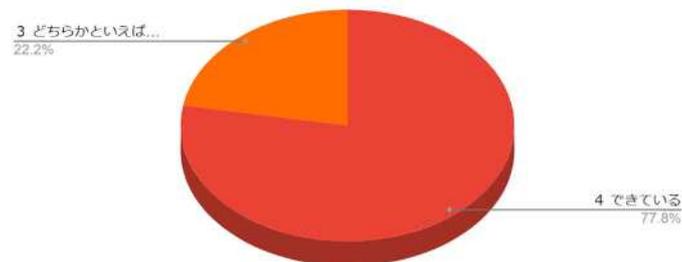
Q4 あなたは、子供との関わり・観察や個人面談をいじめの発見につなげていますか。



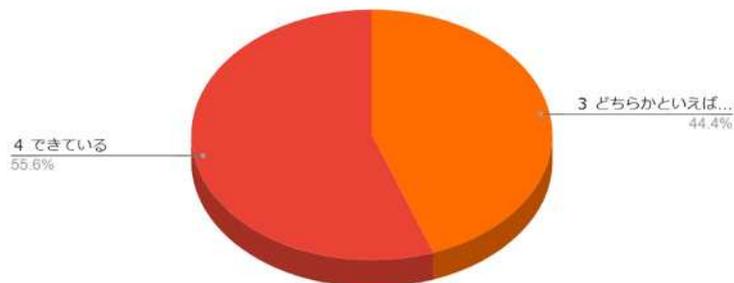
Q5 あなたは、いじめと疑われる行為を発見した場合、その場でその行為を止めることができますか。



Q6 あなたは、子供や保護者の気持ちに十分寄り添い、傾聴しながらじっくり話を聴いていますか。



Q7 あなたは、事実（いつ、どこで、誰が、何を、どのように、なぜ『5W1H』）を聞き取り、その事実のみ（主観は入れない）を記録に残していますか。

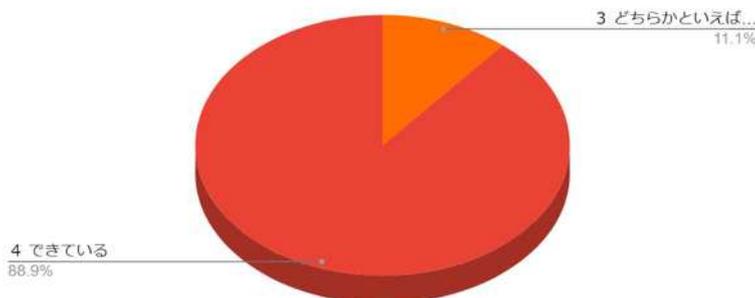


Q8 あなたの学校は、「校内いじめ対策委員会」でいじめの認知をし、組織的な対応ができていますか。

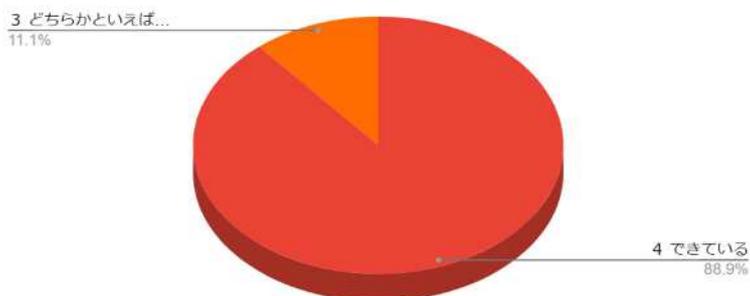


できている 100%

Q9 あなた（あなたの学校）は、いじめを受けた子供、いじめを行った子供の保護者に、いじめの事実関係や対応方針・経過をできるだけ早く、丁寧に説明していますか。



Q10 あなた（あなたの学校）は、いじめの解消に向けて、いじめを受けた子供、いじめを行った子供の気持ちを継続的に確認し、見守っていますか。



「学校いじめ防止基本方針」「校内いじめ対策委員会」を含めた自校のいじめ対応について、本年度の課題や見直しが必要であると思う点があればお書きください。（自由記述）2 件の回答

○本校独自の「いじめ第一報シート」を活用することができているので、見直し点はない。

○校内での事案だけでなく、校外（学童やスポーツ少年団等）での子供同士の関わりについて、保護者から相談を受け発覚する事案が度々あった。判断に迷うことがあったが、今年度同様、できるだけ早く、担任、生徒指導主任、管理職で情報共有し、チーム体制で対応を判断し、できるだけその日のうちに本人の思いや状況を聞き取り、家庭とも情報共有できるようにしていきたい。

令和7年度 浜松市立三ヶ日東小学校 学校評価アンケート結果

1 自己評価結果

本校では、目指す子供像を「よりよい自分、よりよい仲間、よりよい学校をつくる子」とし、予測困難な令和の時代を生き抜く子供たちの育成を目指している。この目指す子の育成を具現化するために「知・徳・体」のバランスのとれた重点目標を設定し、学校教育目標である「夢をもち、都筑の丘に輝く子」を育てていきたいと考えた。そこで、「目指す子供像」「知…進んで学ぶ子」「徳…思いやる子」「体…健やかな子」の重点目標を中心に令和7年度の自己評価目標を設定し、アンケート形式で、児童・保護者・教職員に回答していただいた。

自己評価結果は別紙のとおりである。各設問の左側に付いている記号は、肯定的な評価の割合（「そう思う」「大体そう思う」の合計）を示している。

◎	肯定的な評価が90%以上	△	肯定的な評価が70%以上
○	肯定的な評価が80%以上	×	肯定的な評価が70%以下

2 児童アンケートより

- ・ すべての項目において、肯定的な評価が80%を超えており、落ち着いて充実した学校生活を送ることができている児童が多いと言える。
- ・ 「授業では自分の考えを進んで伝えている」の項目がやや低い。特に「そう思う」と自信をもって答えている割合が6割程度である。自分の意見を進んで言える場の設定や学習展開の工夫をさらに行い、授業改善を図っていきたい。さらにICT活用等を含めた「伝え方」についての指導も継続的にしていきたい。また、「学校に行くのは楽しい」の項目も9割を下回った。友達によさやがんばりを見つける活動や委員会によるイベント活動を充実させ、自己肯定感や他者信頼感を高め、温かい雰囲気のある学校づくりにさらに努めていきたい。

3 保護者アンケートより

- ・ 「目指す子供像」「思いやる子」「健やかな子」の項目について、90%程度の肯定的な評価をいただいた。楽しく学校に通い、他の学年の児童とも仲良く関わることができていると考えている保護者が多い。また、学校での様子や情報について知ろうとしていただいている保護者が多く、本校の教育活動に大変協力的であると言える。
- ・ 「知…進んで学ぶ子」に関する項目の自己評価が低い。「授業では、自分の考えを進んで伝えている」「分からないことやできないことに粘り強く取り組む」の項目が低く授業中に先生や友達の話をしっかり聞いているのか、授業に参加し、内容を理解しているのかといった不安を感じているものと思われる。また、言葉遣い、けじめのある行動、友達によさを見付けるといった項目が9割を下回った。家庭での表れが学校でも出ているのではないかと考えたものと思われる。年間を通して、話を聞くこと、挨拶、けじめをつけることの必要性については、全校朝会等で繰り返し発信している。学習面と合わせて今後も考えていくようにしたい。

4 教職員アンケートより

- ・ 保護者と同じように「授業では、自分の考えを進んで伝えている」「分からないことやできないことに粘り強く取り組む」の項目が低い。学習面について、物足りなさを感じている教職員が多いと感じる。校内研修を継続して行い、本校の児童に合った「主体的な学び」について模索していきたいと考える。
- ・ 「毎日の授業に向けて、教材研究の時間がとれている」の項目が大変低い。学校での勤務時間の業務の見直しや個人研修の時間の確保について、働き方改革の観点から、さらなる見直しが必要になってきていると考える。

5 いじめ防止基本方針に基づく内容より

- ・ 児童への質問事項である「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」という項目に98%、「先生は頑張っていることを認めてくれたり励ましてくれたりしている」という項目に99%の肯定的な意見が見られた。いじめゼロに向けた取り組みができていくかという事項については、保護者、教職員ともに高い評価をいただいた。これまでの日頃の児童観察に加え、学級担任が全児童との個々面談を実施し一人一人と向き合う時間が確保されていることで、児童が安心して学校生活を送ることができる環境づくりにつながっていると考える。

6 成果について

- ・ 児童や保護者、教職員の回答から、充実した学校生活を送っていることがうかがわれる。また、本年度計画している学校行事等の教育課程は、計画通りすべて行うことができている。これからも、楽しい学校づくりのために、児童や保護者、地域の方の声を大切にして、丁寧に対応していきたい。

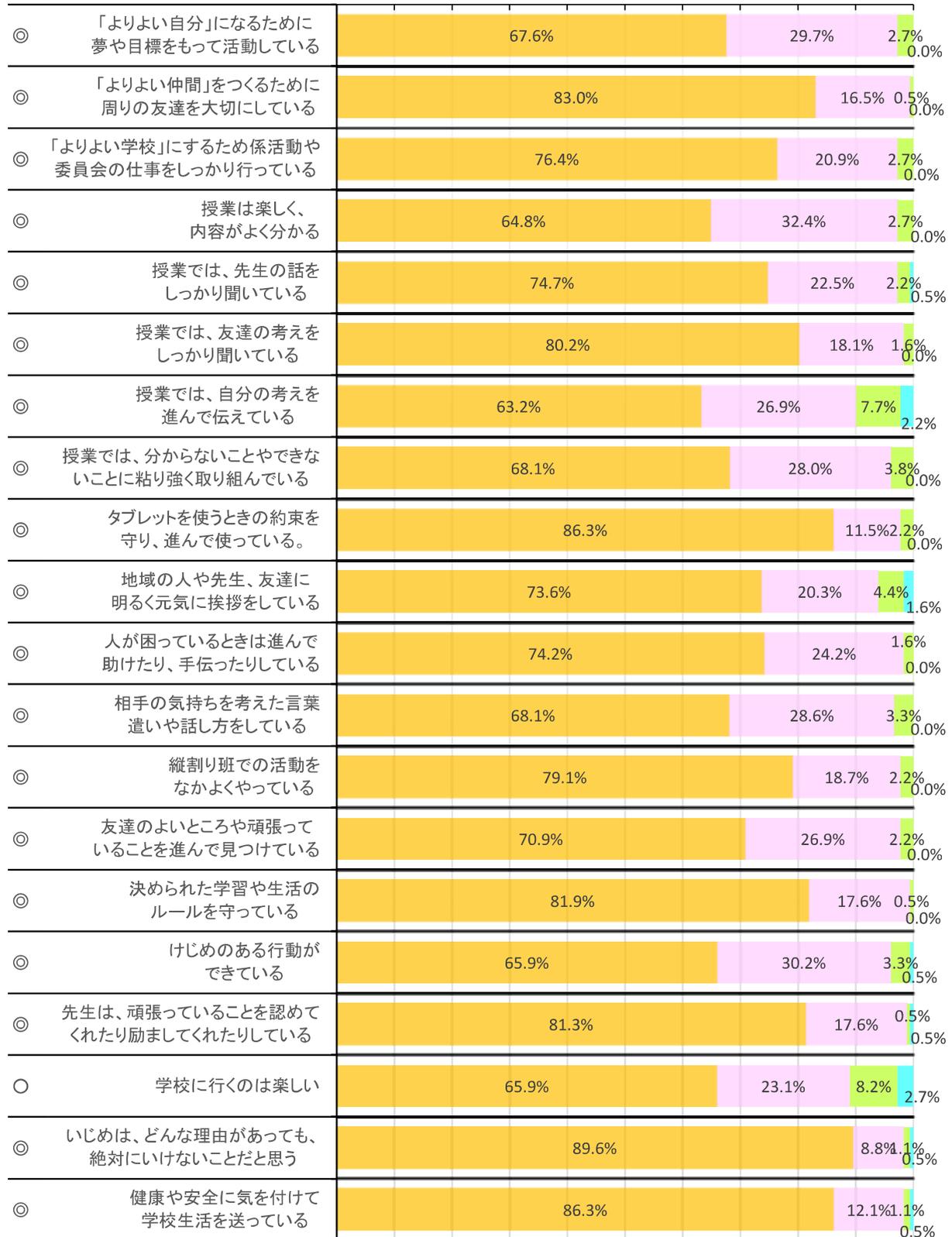
7 課題、改善策について

- ・ 課題については、自分の考えを進んで伝えること、粘り強い学習への取り組みが挙げられる。児童に粘り強く学習に取り組ませるため、話を聞くことの大切さを改めて考えさせる。また、学習内容や題材を吟味し、楽しく学べ、学びが持続できる題材開発に努めていきたい。そして、自分の考えを進んで伝えることができるよう、1時間ごとに学習内容の確認や学びの振り返りの場を設定したり、ICT機器を積極的に利用したりして授業改善に努めたい。
- ・ いじめ問題への取り組みについての課題は、全職員が共通理解をもち、組織対応ができる体制づくりをさらに進めていきたい。今後、児童が自分たちの力でよりよい学校づくりに参画するため、児童会や委員会活動を通して、いじめがない楽しい学校づくりのための企画を立案し、さらに活発化できるようにしていく。
- ・ 学校教育目標の実現のため、「知・徳・体」のバランスの取れた「輝きプラン」を作成する際、児童実態や保護者・地域の願いを真摯に受け止めながら、児童や教職員に分かりやすいものになるように、重点項目を明確にする等工夫をしていく。今後も、開かれた三ヶ日東小を目指し、CS活動やサポーター活動も充実・発展させていきたいと考える。

令和7年度 児童 学校評価アンケート集計結果

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

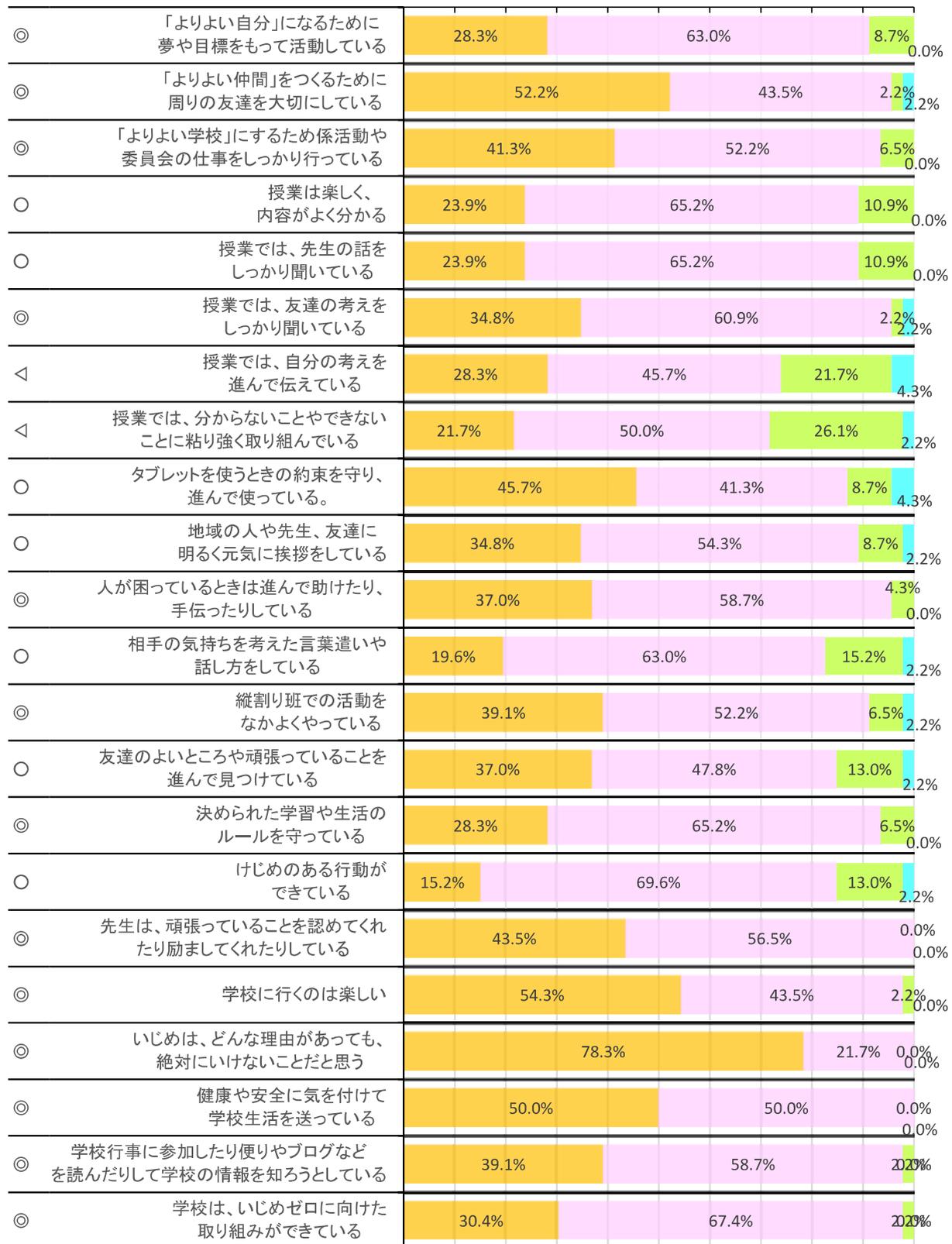
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



令和7年度 保護者 学校評価アンケート集計結果

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



令和7年度 教職員 学校評価アンケート集計結果

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

◎	「よりよい自分」になるために夢や目標をもって活動している	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
◎	「よりよい仲間」をつくるために周りの友達を大切にしている	60.0%	30.0%	10.0%	0.0%
◎	「よりよい学校」にするため係活動や委員会の仕事をしっかり行っている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
◎	授業は楽しく、内容がよく分かる	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
◎	授業では、先生の話をしっかり聞いている	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
◎	授業では、友達の考えをしっかり聞いている	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
○	授業では、自分の考えを進んで伝えている	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
○	授業では、分からないことやできないことに粘り強く取り組んでいる	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
◎	タブレットを使うときの約束を守り、進んで使っている。	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%
◎	地域の人や先生、友達に明るく元気に挨拶をしている	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
◎	人が困っているときは進んで助けたり、手伝ったりしている	70.0%	20.0%	10.0%	0.0%
◎	相手の気持ちを考えた言葉遣いや話し方をしている	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%
◎	縦割り班での活動をなかよくやっている	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
◎	友達のよいところや頑張っていることを進んで見つけている	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
◎	決められた学習や生活のルールを守っている	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
◎	けじめのある行動ができています	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%
◎	わたしは、頑張っていることを認めたり励ましたりしている	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
◎	学校に行くのは楽しい	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
◎	いじめは、どんな理由があっても、絶対にいけないことだと思う	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
◎	健康や安全に気を付けて学校生活を送っている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
◎	学校は便りや学校のブログなどで校内の情報を発信している	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
◎	わたしはいじめゼロに向けた取り組みができています	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
×	毎日の授業に向けて、教材研究の時間がとれている。	20.0%	30.0%	40.0%	10.0%



令和8年度 三ヶ日東小学校 2026輝きプラン



第4次浜松市教育総合計画

基本理念

描く夢や未来の実現 「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」

3つのコンセプト

目指すこどもの姿

自分らしさを大切にすることも
他者と協働し、主体的に行動できることも
自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

目指す教職員の姿

こどもの自分らしさを受け止める教職員
愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
専門性と指導力を磨き続ける教職員

三ヶ日中学校区目指す子供像

三ヶ日の未来を担い、
夢をもって自分らしく輝く子
合言葉

目を見て聞いて伝え合い
自分から早寝早起き朝ご飯
あいさつ笑顔やさしい言葉

学校教育目標

夢をもち、都筑の丘に輝く子

目指す子供像

よりよい自分、よりよい仲間、よりよい学校をつくる子

進んで学ぶ子

○話をよく聞く。

- ・聞き方の指導
- ・話の内容の確認及び、振り返りの場の設定

○目的意識をもち、様々な人とかわり、自分の考えを表現する。

- ・地域人材の積極的活用
- ・「主体的で対話的で深い学び」と「はままつの教育」の視点に基づく授業改善
- ・ICT機器の積極的活用

思いやる子

○挨拶、返事ができる。

- ・児童会による挨拶運動
- ・気持ちの良い挨拶と返事の励行及び意図的指導

○相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができる。

- ・道徳教育の充実
- ・かがやきカードの活用
- ・いじめの未然防止、早期対応

健やかな子

○けじめのある行動ができる。

- ・生活、学習ルールの共通理解と徹底
- ・教室環境の整備（整理整頓）

○困難な場面でもくじけず、最後までやり遂げる。

- ・児童に寄り添う教育相談
- ・成功・失敗経験での温かな称揚や容認、励まし

キャリア教育の推進 育てたい力ー自分の未来をひらく **みつかピ**の力

みつめる・みつける

つなげる・つながる

かいけつする

ビジョン（生き方）
をえがく

地域と共に輝く学校

保護者との連携

- ・教育相談体制の充実
- ・家庭との連携による情報モラル教育
- ・PTA活動

地域との連携

- ・学校運営協議会との協働
- ・地域人材活用及び学校支援体（タ）活動
- ・町内各組織との協働

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(三ヶ日東小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・令和6年度も、学校側の要望を聞き学校サポーターや外部講師などを積極的に活用するなど、学校と地域を結ぶ役割を果たしていく。
- ・地域版人材バンクの活用をさらに充実させていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校教育目標である「夢をもち、都筑の丘に輝く子」の具現化のため、地域と共に地の教育を進めていきたいという学校の願いに沿った熟議を進めていくことができたと感じている。
- ・それぞれの委員がそれぞれの立場から活発に意見を出し合い、毎回充実した熟議をすることができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・本年度も本校の特色の一つである学校サポーター活動を充実させることができて良かった。
- ・学校サポーター活動を通して、たくさんの方々が教育活動に関わっていただけ良かった。また、その地域の方々との充実した関わりが、子供たちが自分たちの地域について、さらに知ろうという意識を高めることにつながったと感じられた。
- ・今後は低学年の子供たちへのサポートをさらに進め、教育活動の充実を支援していきたい。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・コミスク便りは協議会ごとに発行し、その時の協議会での熟議の様子を中心に、保護者や地域の方に分かりやすく情報を伝えることができ、協議会や教育活動への理解を広げることができた。
- ・コミスク便りで、サポーターの方の活動の様子をさらに紹介し、紙面でもサポーターの募集を行えば、さらに多くの方のサポートをいただけるようになると思う。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・学校側の要望を聞き学校サポーターや外部講師などを積極的に活用するなど、学校と地域を結ぶ役割を果たしていく。
- ・子供にとっても、外部講師の方を招いての授業は楽しみであると思われる。今後も多様なジャンルの方に教育活動に参加をしていただき、子供たちの興味関心を高めながら、体験活動の充実を図っていきたい。
- ・学校運営協議会で熟議した内容をPTA、地域に積極的に発信し、様々な人々との協働で子供たちを育てる環境を作っていきたい。

(様式1)

学校番号 (小)・中)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (三ヶ日東小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

・学校側の要望を聞き学校サポーターや外部講師などを積極的に活用するなど、学校と地域を結ぶ役割を果たしていく。
・子供にとっても、外部講師の方を招いての授業は楽しみであると思われる。今後も多様なジャンルの方に教育活動に参加をしていただき、子供たちの興味関心を高めながら、体験活動の充実を図っていく。
・学校運営協議会で熟議した内容をPTA、地域に積極的に発信し、様々な人々との協働で子供たちを育てる環境を作っていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

(様式1)

学校番号 (小・**中**)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立() 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ※ 前年度に協議会で協議した目標を再確認し、委員間で共有する。
- ※ 目標が、会議体として相応しい目標か、学校運営の基本方針に関わることを中心に据えられているか等を確認する。
- ※ 1～2点に絞るとよい。
- ※ **【重要】<評価項目1～3>と<来年度の目標>は、委員個人の評価ではなく、協議会としてまとめた評価を記載する。**

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ **ア** よくできた **イ** できた **ウ** あまりできなかった **エ** できなかった
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目1をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての評価を記載する。
- ※ 学校運営の基本方針(自校の学校教育目標や「育てたい力」等)について、協議した内容を簡潔に評価する。(1～2点でよい。)

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ **ア** よくできた **イ** できた **ウ** あまりできなかった **エ** できなかった
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目2をもとに、振り返る。
- ※ 成果・課題等を簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。(1～2点でよい。)

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ **ア** 充分に行った **イ** 行った **ウ** あまり行わなかった **エ** 行わなかった
(理由)

- ※ 協議会での協議結果(会議録への記載内容等)について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ※ 1～2点に絞り、記載する。
- ※ 学校運営協議会は、会議体であるため、会議体として相応しい目標を設定する。委員が、個人としてボランティア活動に参加することは想定されるが、学校運営協議会がボランティア活動の主体となることは想定していない。
- ★ 自己評価の結果については、学校ホームページで公表する。

令和7年度 第38回三ヶ日東小学校運営協議会資料

1 令和8年度の学校運営協議会の目的、組織、取組（案）

【目的】

- ◎学校運営に関すること
- ◎学校運営に必要な支援に関すること
- ◎児童の健全育成に関すること

【組織】

令和8年度学校運営協議会委員（8名）

- 会 長（1名）※会長は委員の中から互選で決める
- 副会長（1名）※会長が指名する
- 学校支援コーディネーター（3名） ※委員を兼ねる
- 委 員（3名）

※令和8年度PTA会長、副会長（女性）、令和7年度PTA会長を含む

- 学校関係者 校長 教頭 校内CS担当 CSディレクター

【主な取り組み】

- ◆学校の運営方針に基づいた学習支援・学校サポーター活用の工夫と記録保管
 - （例）地域版人材バンクの活用
- ◆協議会として、学校運営が円滑にできるようにPTA、地域、関係機関との連携を深め、登下校時の安心・安全を確保する取り組み、教育環境等整備の推進
 - （例）見守りステッカー活用の推進
 - 浜松市子供安全ネットワーク推進事業への参加
- ◆協議会として、必要な会合には積極的に参加し連携を深める
 - （例）交通安全を語る会、後援会、その他学校行事に参加
- ◆その他

【確認事項】

- 運営協議会 進行 ※学校支援コーディネーターが順番で実施
- 運営協議会議長 ※委員の順番制で実施（但し会長は除く）
- 学校運営協議会連絡・相談窓口は教頭とする
- 会の内容によってはオブザーバーとして関係者に参加を依頼する

○各運営協議会の前には事前打ち合わせ会を持ち、会のスムーズな進行に努める

※出席者 会長、議長、校長、教頭

2 令和8年度学校運営協議会開催予定と主な議題（案）

◆第39回 4月

- ・運営協議会会長・議長の選出及び副会長の指名について
- ・運営協議会の目的、組織、主な取り組み等
- ・学校経営方針について

◆第40回 6月

- ・キラキラダンスコンテスト審査
- ・学校サポーター・学習支援に関すること
- ・教科、生活、総合、行事、児童の様子等に関すること

◆第41回 10月

- ・授業参観（いらした方から20分程度）
- ・学校サポーター・学習支援に関すること
- ・教科、生活、総合、行事、児童の様子等に関すること
- ・学校評価アンケート項目について
- ・令和7年度 学校運営協議会の自己評価について
- ★学校教職員との協議(学校評価・テーマを設定して)

◆第42回 2月

- ・学校評価について
- ・令和8年度 学校運営協議会の自己評価集約
※学校運営協議会の成果・課題・反省等
- ・令和9年度 学校運営基本方針（案）に関すること
- ・令和9年度 学校運営協議会の目的、組織、主な取り組み、年間計画等（案）
※来年度運営協議会委員について

3 その他

令和8年2月14日

三ヶ日東小学校PTA 役員・理事 様

三ヶ日東小学校学校運営協議会 会長 石原 正仁
三ヶ日東小学校 校長 中村 圭介

「三ヶ日東小学校こども見守り隊」ステッカーの活用について（依頼）

このことについて下記のように、取り組みをお願いいたします。

記

1 願い

令和3年度、学校運営協議会は、「地域の子供は地域で守る。子供たちの安心安全と健やかな成長。交通事故・犯罪を未然に防ぐ。」ことを願い、できることを、できる時に取り組める活動として、ステッカーを作成しました。このステッカーは、保護者の方々の創意工夫でデザインから作成された三ヶ日東小学校独自のものです。

見守り活動は地道な取り組みですが、子供を見守る地域の目として、子供の安心安全に役立ちます。ステッカーのついた車を見れば子供は安心します。地域の多くの人が見守っていることを示すことで、犯罪防止の抑止力にもなります。校区のみんなで見守る活動に御協力ください。

2 使用者

PTA役員、理事

3 貼る場所 車の左右ドア等（見えるところ）

4 使用していただきたい時間帯、休日等

◆子供の登下校の時間帯

◆土・日、祝祭日 長期休業日（春休み、夏休み、冬休み）

上記の中で外出する用事ができた時に貼る。

※基本的には子どもたちが学校で生活している時間帯は貼る必要はありませんが、できるだけ貼って走行していただければ地域の防犯にもつながりますのでご協力ください。

5 その他

○子どもの様子で気になることがあれば学校までご連絡ください。また、不審な車や人を見かけたときは警察まで通報してください。

○この取り組みについて御不明な点、御意見等は下記担当まで御連絡ください。

担 当	三ヶ日東小学校 高島 博
電 話	053-526-7034

(様式 2)

令和 8 年 3 月 1 日

浜松市教育委員会
学校・地域連携課 課長 様

浜松市立三ヶ日東小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 大野 恵美子

夢育やらまいか事業（CS加算分）報告書

夢育やらまいか事業のCS加算分の用途等について、下記のとおり報告します。

記

1 学校運営協議会からの意見

別紙「夢育やらまいか事業に対する意見書」のとおり

2 意見に基づき実施した活動等

No.	記号	事業内容	具体的活動内容
1	ケ	地域指導者による 体験活動の充実	命の授業講師謝礼（1年生）
2	ケ	地域指導者による 体験活動の充実	命の授業講師謝礼（6年生）
3	オ	体験学習の充実	生活・総合発表会の資料作成に使用

3 活動に要した経費

夢育やらまいか事業収支決算書のとおり

収支決算書

住所又は所在地 浜松市浜名区三ヶ日町都筑2266-2

名 称 浜松市立三ヶ日東小学校夢をはぐくむ学校づくり推進協議会

代表者氏名 代表 大野 恵美子

浜松市立三ヶ日東小学校夢育やらまいか事業

1 収入の部 410,000 円

2 支出の部 410,000 円

(内訳)

費目	予算額(円)	決算額(円)	算出の基礎						支出 番号		
			記号	事業内容	用途	単価	×	個数		=	小計
報償費	40,000	40,000	ケ	地域指導者による体験学習の充実	1年「命の授業」講師謝礼	20,000	×	1	=	20,000 円	2
			ケ	地域指導者による体験学習の充実	6年「命の授業」講師謝礼	20,000	×	1	=	20,000 円	7
旅費	0	0									
需用費	208,800	212,200	イ	総合的な学習の時間の充実	トナー(ブラック)	18,810	×	1	=	18,810 円	14
			イ	総合的な学習の時間の充実	トナー(シアン)	21,450	×	1	=	21,450 円	14
			イ	総合的な学習の時間の充実	トナー(マゼンダ)	21,450	×	1	=	21,450 円	14
			イ	総合的な学習の時間の充実	トナー(イエロー)	21,450	×	1	=	21,450 円	14
			イ	総合的な学習の時間の充実	折りたたみ椅子	9,020	×	12	=	108,240 円	15
			オ	自然体験学習の充実	5年釣り体験 餌代	500	×	1	=	500 円	5
			イ	総合的な学習の時間の充実	3年みかん学習(みかん配付用)	157	×	4	=	628 円	10
			ケ	地域指導者による体験学習の充実	盛花(6月生け花用花材)	3,300	×	1	=	3,300 円	3
			ケ	地域指導者による体験学習の充実	盛花(10月生け花用花材)	2,145	×	1	=	2,145 円	3
			ケ	地域指導者による体験学習の充実	盛花(11月生け花用花材)	1,760	×	1	=	1,760 円	9
			ケ	地域指導者による体験学習の充実	盛花(12月生け花用花材)	1,595	×	1	=	1,595 円	11
			ケ	地域指導者による体験学習の充実	盛花(1月生け花用花材)	1,705	×	1	=	1,705 円	13
			ケ	地域指導者による体験学習の充実	盛花(2月生け花用花材)	1,650	×	1	=	1,650 円	16
			ケ	地域指導者による体験学習の充実	盛花(発表会生け花用花材)	7,517	×	1	=	7,517 円	17
			役務費	0	0						
使用料	141,000	147,800	オ	自然体験学習の充実	5年体験料金(いかだ)	500	×	4	=	2,000 円	1
			オ	自然体験学習の充実	5年体験料金(釣り)	200	×	14	=	2,800 円	6
			エ	保健に関する事業	テントレンタル(運動会熱中症対策)	143,000	×	1	=	143,000 円	8
負担金	20,200	10,000	エ	防災・防犯教育の充実	防犯教室負担金	10,000	×	1	=	10,000 円	12
計	410,000	410,000									

3 清算

	負担額	負担割合(%)	返金額
浜松市	410,000	100.00%	0

令和7年12月18日

学校運営協議会委員各位

浜松市立三ヶ日東小学校
校長 中村 圭介

学校運営協議会委員研修会（オンライン）の開催について（御案内）

日頃は、浜松市の教育に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、学校運営協議会委員及び来年度新規委員候補となる方等を対象に、下記のとおり研修会を開催いたします。御都合のつく方はぜひ御参加をお願いいたします。

記

- 1 目的 学校運営協議会委員のコミュニティ・スクールに対する理解を深め、学校と地域が連携・協働しながら子供たちを育む意識を高める。
- 2 日時 令和8年2月25日（水） 午後2時から午後3時30分
- 3 方法 オンライン受講（Zoomによるライブ配信）

招待リンク <https://us02web.zoom.us/j/89819089779?pwd=oe7vEzP10EWNAQfj762YHjqo6p5MCv.1>

ミーティングID： 898 1908 9779

パスコード： 112244

右QRコードからもアクセスできます。



■開始5分前までに接続してください。

■入室時は次の形式で入力してください。

【学校名+氏名】 例：三ヶ日東小学校 浜松花子

■接続がうまくいかない場合は、下記へ御連絡ください。

浜松市教育委員会 学校・地域連携課 地域連携グループ TEL 053-457-2423

- 4 対象者 学校運営協議会委員・来年度新規委員候補者

5 内容

- (1) 趣旨説明 浜松市教育委員会 学校・地域連携課 地域連携グループ
- (2) 講話 「学校運営協議会の活用と学校課題の解決」
講師 文部科学省CSマイスター、ふくしま学校と地域の未来研究所 安齋 宏之 氏
概要 ・学校運営協議会の役割と仕組み
・学校・地域が協働する取組事例の紹介 等

6 その他

- (1) 当日の資料は、1週間前を目途に、学校を通じてお渡しします。
- (2) 本件に関して御不明な点がございましたら、担当まで御連絡ください。

浜松市立三ヶ日東小学校
担当 平田
電話 053-526-7034

浜松市が目指す 地域クラブ活動 『はまクル』始動

2026年9月より
休日の学校部活動は地域クラブ活動に変わっていきます



浜松市では、すべての中学生が安心して
スポーツや文化芸術活動が続けていける環境を目指し、
地域の人たちで運営し、中学生がだれでも参加できる
地域クラブ活動「はまクル」を推進していきます。

まずは休日から。

一人一人がやりたい活動を思いきり楽しみ、
上手になりたい人は力を伸ばし、
仲間とのキズナや地域の人たちとのつながりを深めていく。
そんな、ワクワクする地域クラブをみんなでつくっていきます。



『浜松市「休日の部活動の地域展開」に関するガイドライン』(案)を
2025年10月24日(金)に公表しました。

通称「はまクルガイドライン」



概要版



全文

ロードマップ

準備期間

～2026年3月

- ▶ 制度の周知や申請方法のご案内
- ▶ 団体・指導者は申請・登録の準備

申請期間(予定)

2026年4月～

- ▶ 「はまクル認定クラブ」の申請受付開始
- ▶ 指導希望者は「はまクル人材バンク」へ登録
- ▶ 参加を希望する生徒の入会受付開始

移行開始

2026年9月～

- ▶ 学校の休日部活動は原則終了
- ▶ はまクル認定クラブの活動開始

生徒・保護者の方へ

なぜ休日の学校部活動が 地域クラブの活動に変わるの



これまでの部活動は、学校の先生が中心となって指導をしてきました。しかし、少子化の影響で生徒数が減り、チームをつくるのが難しくなったり、先生の負担が大きくなってきたりと、今の形のまま続けるのが難しくなっています。

そこで浜松市では、部活動のよさを残しつつ、休日については学校の部活動の枠にとらわれず、みなさんがスポーツや文化芸術活動に継続的に取り組むことができる環境をつくっていくこととしました。これを「休日の部活動の地域展開」といいます。

「はまクル」とは、浜松市が目指す地域クラブ活動のことです。はまクルの理念に沿って認定を受けた「はまクル認定クラブ」では、地域の人たちと共に、これまでの部活動にある競技や文化芸術活動だけでなく、さまざまな競技や活動を楽しめるようにしていきます。

ぜひ、自分に合ったクラブ活動を見つけて、参加してみてください！

参加の流れ

※すでに入会しているクラブがはまクル認定クラブになる場合は、特に入会の手続きはありません。

1 参加したいクラブを探そう

ポータルサイト（準備中）をチェックして、はまクル認定クラブからやってみたいクラブを探してみましょう。クラブの方針や活動場所への移動手段、参加費等を確認し、ご家族で相談して決定しましょう。

2 クラブに連絡を取ろう

参加したいクラブが決まったら、ポータルサイト（準備中）から問い合わせや申し込みをしましょう。最初は見学や体験から始めてみるのもよいでしょう。

3 クラブに入会して活動をスタートしよう

申し込み完了後、活動日時や場所、持ち物等をよく確認し、はまクル認定クラブの活動に参加しましょう！

いよいよ活動がスタートです！



「はまクル認定クラブ」のメリット

✓ 認定クラブだから安心

「はまクル認定クラブ」は、浜松市が定める認定要件をすべて満たした団体です。各クラブは、はまクルガイドラインに沿った活動を行っていくので、安心して参加できます。

✓ 自分の興味で選べる

休日に参加するクラブとして、興味のあるスポーツや文化芸術活動を、自分で選んで参加できます。複数のクラブに参加することもできます。

✓ 新たな活動に チャレンジできる

学校の部活動に設置されていない種目や分野でも、気軽にチャレンジすることができます。自分の新たな可能性を広げるチャンスです。

✓ 地域との つながりが生まれる

クラブによっては、地域の大人や他の学校、他の年代の仲間と一緒に活動できて、交流が広がります。

はまクル認定クラブを運営したい方へ

市の認定を受けると 「はまクル認定クラブ」 として運営できます



「はまクル認定クラブ」は、ゼロからクラブを設立するパターンと既存クラブから移行するパターンのどちらかが考えられます。認定のために必要な5つの要件を規約に明記して申請することになります。認定を受けたクラブには、中学校施設を無償で使用できるなど、市としての支援をしていきます。

子どもたちの成長や地域のつながりを育む新しいクラブのカタチを、一緒につくっていきませんか。

指導者として関わりたい方へ

スポーツ・文化芸術活動の 経験を活かし、生徒の成長を 支える指導者を募集



浜松市では、子どもたちの地域クラブ活動を支えてくださる指導者を広く募集し、「はまクル人材バンク」に登録していきます。子どもたちのために、あなたのスポーツや文化芸術活動の経験を活かしてみませんか。特別な資格や条件などはありませんが、活動を開始する際には、原則、動画視聴等の研修の受講が必要です。既に資格や専門的な知識を持つ方であれば、より大きな力を発揮していただけます。

参加を希望される方は、ぜひ「はまクル人材バンク」へご登録ください。

〈お問い合わせ〉

「はまクル」の取り組みについて、ご不明な点やご質問等がありましたらご連絡ください。クラブの認定手続きや認定クラブへの参加等についての相談も随時受け付けています。

浜松市教育委員会 学校・地域連携課

TEL 053-457-2405

E-mail chiikitenkai@city.hamamatsu-szo.ed.jp



令和8年2月18日

学校運営協議会委員 各位

学校運営協議会長 石原 正仁

令和8年度 第39回 三ヶ日東小学校運営協議会 開催について

このことについて、下記のとおり開催します。つきましては、関係各位には御出席をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

記

1 日 時 令和7年4月22日(水)15:00～16:30

2 会 場 浜松市立三ヶ日東小学校

3 内 容 (1)会長挨拶

(2)熟議

①令和8年度学校運営基本方針（校長）

②いじめ防止等のための基本的な方針（校長）

③令和7年度学校運営協議会自己評価（会長）

④令和8年度学校運営協議会の目的及び年間計画、組織（会長）

⑤令和8年度夢育やらまいか事業（教頭）

4 その他

(1)御欠席の場合は、4月15日(水)までに、三ヶ日東小教頭 平田に御連絡ください。

(2) その他、本件に関して御不明な点は、以下担当へ御連絡ください。

担当（連絡先）

浜松市立三ヶ日東小学校 高島 博

CS ディレクター 山田 雅美

TEL 526-7034

mikkabihigashi-@city.hamamatsu-szo.ed.jp